**平成２９年度第１回大阪府がん対策推進委員会**

**がん検診・診療部会（概要）**

# １．日　時：平成29年8月９日（水）18時～

# ２．場　所：大阪がん循環器病予防センター　６階　会議室

# ３．議　事：

# （1）胃内視鏡検査における各種標準様式（案）について

# （2）第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について

# （3）その他

４．委員からの意見要旨と審議結果

1. 胃内視鏡検査における各種標準様式（案）について【資料１】

平成28年度第２回がん検診・診療部会にて胃内視鏡検査導入の支援として、各種様式を作成することとなったことを受け、胃がん検診における胃内視鏡検査の問診票、同意書、所見用紙の各種標準様式について検討された。

【審議結果】

各種様式の発出について承認を得た。今回いただいた委員意見については、通知文と一緒に送付。変更をする点は変更した旨や理由について記載し発出する。

【意見要旨】

　　　　問診票

○質問項目の数が多い。

○文言の表現やフォントの大きさなど各市町村の運営委員会にてしっかりと検討していただく必要がある。

同意書

○代理署名の欄は標準様式の時点で代理署名欄を記載する必要がない。

その他

○生検をすることによって発生する偶発症もあるため、生検の危険性についてきちんと市町村に周知するべき。

○各市町村の運営委員会がどれくらい機能しているか大阪府でモニタリングする必要がある。

1. 第３期大阪府がん対策推進計画（素案）について【資料２~５】

「第２期大阪府がん対策推進計画」の後継計画として策定する「第３期大阪府が

ん対策推進計画」の素案について検討を行った。

【意見要旨】

1. たばこ・がん教育分野について

取組み状況・取り組み目標

○大阪府では、女性の喫煙率が高いため、女性に向けた禁煙対策を実施すべき。

○目標など実現可能性についても考慮し、計画を策定する必要がある。

○禁煙対策は業種によって喫煙率が違うとあるが、喫煙率が高い層を対象とした禁煙対策が必要。

○職場の禁煙対策には、事業主の意識改革が重要であり、事業主に対しての啓発活動が必要。

目標値の設定

○今後、国で成立する法案によって大阪府における目標値の設定は変化する。

1. がん検診分野について

目標値の設定

○目標値は、早期診断割合も含めてがん種ごとに出すべき。

○早期診断割合はがん検診によって見つかった早期発見割合ではない標題の変更もしくは記載箇所の変更が必要。

○第3期目標値の設定のためにも第2期が目標達成できた要因について分析する必要がある。

　受診勧奨・再勧奨をする対象年齢やがん種を増やせば、今後も受診率が向上していくのであれば、市町村の余力についても調査する必要がある。

○第３期から急に高いがん検診受診率や精検受診率の目標値を設定するのではなく、全国平均達成できそうな方の高い方を目標値にする必要がある。